

オリンピック・パラリンピック教育

ライフル射撃競技体験！

12月3日（月）、射撃競技のパラアスリート、大滝健太郎さんをお迎えして講演会と体験授業を行いました！



初めてでも、高得点を出す生徒もいました。



テレビ取材も入りました。



チームに分かれて勝負！最後の射手は大滝さん！



期待に応えて見事 10 点！

今回の体験を通して、生徒たちには2つのことを考えてほしいと思います。

一つは、銃という本来は武器であるものが平和の祭典であるオリンピック・パラリンピックの正式種目であるということ。職能開発科の生徒たちには「知性＝深く考える力」と「理性＝静かに考える力」があって初めて可能になることだと話しました。1週間の体験授業の間、普通科の生徒を含め、ふざけて人に向けるようなことは一度もありませんでした。本校の生徒たちには武器をスポーツ用品に変える知性と理性がある証拠だと思えます。

もう一つは「体を動かさないスポーツ」というものもあるのだということ。10m先の0.5ミリの狙う射撃競技では呼吸はもちろん、心臓の鼓動の合間に引き金を引くほど静止を求められるものです。他のスポーツのように相手の動きに合わせて瞬時に判断する、ということもありません。自分の心へのみ向かい合い、わずかな違和感を見逃さず、正しい動きを繰り返し行う競技です。他のスポーツでは活躍しにくい生徒が10点を連射することもありました。

射撃競技に限らず、まだ出会っていないことが世の中にはたくさんあります。生徒たちには様々なことに積極的に挑戦して、自分の可能性を発見してほしいと願っています。